

2019年 氷見市の10大ニュース第1位

12/15

北の橋開通

～まんがロードの新たな観光スポット誕生!!～

2016年10月から架け替え工事が行われてきた「北の橋」が3年2カ月の工期を経て完成し、開通しました。

開通式に先立ち、新しく完成した北の橋の親柱に設置された藤子不二雄[®]四大キャラクター「忍者ハットリくん」「怪物くん」「プロゴルファー猿」「笑ゥせえるすまん」のモニュメントの除幕式が新町保育園の園児や忍者ハットリくんとともに行われました。

林市長が「まんがロードの新たなポイントとして、ARアプリのまちなか巡りと合わせ、楽しんでほしい」とあいさつをしました。また、藤子不二雄[®]さんから「四大キャラクター

が集まる全国唯一の橋。県外、海外から足を運んでもらう、氷見のかけ橋となることを願っている」とふるさと氷見への温かい思いを込めたメッセージが披露されました。

その後、新町保育園の園児によるリズムカルなダンスが始まると、会場からは手拍子が沸き起こりました。

その後開催された開通式では、石井知事が架け替え工事に対する理解に感謝を述べるとともに「生活道路としてはもちろん、新しい観光スポットの誕生となった」と

述べ、林市長は、安全性が向上し、安心して市民生活を送ることができるようになったと新橋開通への感謝を述べるとともに「まんがロードの北の玄関として、多くの人々に親しまれることを期待する」と述べました。

またテープカット、くす玉開披に続き、中央子ども舎の園児による可愛い鼓隊演奏に会場の観客は大きな拍手を送りました。

式の最後には、新しい北の橋が何代にもわたって末永く、その役割が果たせるようにと願い、宮司に続き岩瀬さん三世代夫婦らが参列し、中央町から北大町に向かって橋長約37.2メートルをゆっくりと、そして今町児童会のこども神輿は元気いっぱいに渡り初めが行われました。



©藤子スタジオ



11/17

ひみに新たな歴史を！ ひみ第九はじめの一步コンサート

ひみ第九はじめの一步コンサートがいきいき元気館で開催され、合唱団とソリスト、アンサンブルがすてきな歌声と演奏を披露しました。

これは、新文化交流施設開設を前に、市内で音楽・芸術に触れる市民参加型の企画を立ち上げたいと考えたのがきっかけ。市で初めてとなる第九演奏会では、ドイツを拠点に活動するテノール歌手 澤武紀行氏を総監督に参加者を募ったところ、合唱団とアンサンブル合わせて総勢 216 人となりました。

歌うのはベートーベン作曲の「交響曲第 9 番『合唱付』」の第 4 楽章。出演者は 6 月から練習を重ねた成果を披露しようと、約 30 分の演奏に全身全霊を込め歌い上げました。

伸びやかで美しい歌声と繊細な演奏に感動した観客約 800 人からは鳴りやまぬ大きな拍手が送られました。

また、第九演奏の前には、市内で活動するソリストや合唱団のメンバーが所属団体ごとに歌声を披露し会場の雰囲気盛り上げました。

最後には、観客と一緒に「ふるさと」を歌い上げ、出演者、観客全員で、これからの可能性を感じながら感動のフィナーレを迎えました。



11/17

笑って、動いて、楽しんで ゆるスポ Fun くらぶ

ふれあいスポーツセンターで、ゆるスポ Fun くらぶが開催され、21 人が楽しく体を動かしました。

これは、運動の実施率が低いといわれる 20 代から 40 代の女性が、ゆるスポーツを通して運動に親しみ、習慣づけることを目的に実施されたものです。

参加者は世界ゆるスポーツ協会の萩原事務局長の指導のもと「ベビーバスケット」や氷見発祥のゆるスポーツ「ハンギョボール」を楽しみました。

ボールを激しく動かすと赤ちゃんのように泣いてしまう「ベビーバスケット」では、参加者は優しくパスを回しながら、ゴールを目指しました。また、「ハンギョボール」ではゴールを決め、脇に抱えたコズクラがフクラギにランクアップすると、両手を挙げ「出世!!」と喜び合いました。



11/21

冬場の雪に備え 氷見市除雪対策本部を開所



冬季の積雪に備え、氷見市除雪対策本部を道路管理センターに開所しました。小野本部長(副市長)が「市民のため、万全を期してほしい」と訓示し、除雪車の点検運転が行われました。

今年は、機械除雪および消融雪区間を含め 465.1 km の道路除雪を行い、機械除雪については 2 台増強し、市全体で総数 163 台態勢で当たります。

この対策本部を拠点に、気象情報などに留意し、積雪時の交通網を確保するため、迅速で適切な除雪作業に取り組んでいきます。

皆さんも早めに雪への備えをお願いします。

11/23

「ずーっと家で過ごしたいーみんなで支える在宅医療・介護ー」

在宅医療推進市民フォーラムがいきいき元気館で開催され、約 200 人の市民が寸劇や講演を通して「在宅医療と介護」について理解を深めました。

これは、病気になっても介護が必要になっても「ずーっと家で過ごしたい」という思いに寄り添う医療や介護関係者の取り組みを紹介するため、毎年氷見市医師会と市が開催しており、今年で 4 回目を迎えます。

第 1 部では、「安心して家で過ごすために…」と題した寸劇を披露。救急車を呼ぶときのポイントや、かかりつけ医を持つ大切さ、人生の最期を考え伝える「いちごメモ」について笑いを交えながら分かりやすく説明し、参加者は、もしものときに備える大切さ感じていました。

第 2 部は「穏やかな最期を迎えるために知っておきたいこと」と題して、兵庫県尼崎市の長尾クリニック院長 長尾和宏先生に講演いただき「人生の最終段階に自分はどのように過ごしていきたいか」など、一人一人が真剣に考える機会となりました。



11/23

ハンドボールのまち氷見で開催！ 富山ハンドボーラーズ DAY2019

富山ハンドボーラーズ DAY2019 がふれあいスポーツセンターで開催され、関東で活躍している富山出身の大学生、現役高校生でつくる「富山ドリームス」が熱い戦いを繰り広げました。

これは、2020 年の東京五輪を前に、ハンドボールのまち氷見で、競合と知られる日本体育大学・筑波大学・明治大学の選手らと富山ドリームスが「魅せるハンドボール」を披露し、新しいハンドボールの魅力を発信するために開催されたものです。

富山ドリームスは 2 試合目に明治大学と対戦。地元の選手がシュートを決めると、会場には約 2,500 人の大きな声援が響き渡りました。

試合後には写真撮影やサイン会、選手とのふれあいイベントも開催され、駆け付けたファンは楽しい時間を過ごしました。



犯罪防止に向けて出発！年末特別警戒出発式

12/5

年末特別警戒出発式が氷見警察署で行われ、氷見市防犯協会や少年指導員等連絡協議会、民間パトロール隊連絡協議会、氷見警察署の関係者ら約40人が出席しました。

盛永氷見警察署長らのあいさつの後、氷見高校の荒山^{しゅんと}舜大さん(3年生)と谷^{いさな}勇魚さんが「事故や犯罪のない氷見市の実現のために努力することを誓います」と力強く宣言しました。

その後、関係者らは警察車両や各地区の防犯パトロール車に乗車して、市内のコンビニエンスストアや量販店などを巡回し、チラシを配布、各種犯罪防止や少年非行防止を呼びかけました。

冬は日暮れが早く、事件や事故が発生しやすくなります。見知らぬ人からの電話やメールなどは詐欺の可能性もありますので、すぐに警察に相談しましょう。相談専用ダイヤル「#9110番」をご利用ください。



飲み会が増えるこの季節に、ファミ絵馬贈呈

12/10

交通事故のない社会を目指して、コマツ氷見工場の職員の皆さんが、子どもたちが作成したファミリー交通安全絵馬(通称：ファミ絵馬)を受け取り、年末年始に向けた交通安全への意識を高めました。

これは、全国で交通事故が相次ぐ中、氷見市交通安全対策協議会が児童らの交通安全を守るため行う取り組みの一環で、第2弾となる今回はコマツ氷見工場から「飲み会の増えるシーズンを迎える前に交通安全の啓発を」という要請のもと、開催されました。

子どもたちが作った「パパ、安全運転でお仕事頑張ってください！」などと書かれた絵馬を前に、コマツ氷見工場の新入社員 藤永洋介さんは「飲酒運転は絶対にしない。ルールを守って安全第一で運転していきたい」、朝倉慶さんは「二日酔いにも十分注意し、これからのシーズン、雪道に気をつけていきたい」と気持ちを新たにしていました。



12/10

春の開園を前に、仲良くみんなでリトミック！

春の「あさひの丘こども園」開園を前に、上伊勢保育園と南大町こども園の年少児17人が音楽に合わせて楽しく触れ合いました。

これは、旧朝日丘小学校跡地に建設中のあさひの丘こども園の開園に向けて、両園の園児たちが仲良く慣れ親しむことを目的とするものです。

園児たちは、米島先生のピアノ演奏に合わせて、元気よく走り回ったり輪になったりと、4月を待ち望み、みんなで楽しい時間を過ごしました。



12/17

春中ハンド開催まで カウントダウン！

3月25日(水)に始まる「第15回春の全国ハンドボール選手権大会」の競技開始まで残り100日を記念し、カウントダウンボード設置イベントを市役所で開催しました。

比美乃江ハンドボールクラブの6年生22人が、大会の開催日までの日数を表示するカウントダウンボードに「100」の文字をセット。林市長が「素晴らしい大会になるよう準備を進めていきたい」とあいさつし、児童らは「先輩、頑張れー！」とエールを送りました。

また、男子主将の北谷 旭さんは「優勝できるように頑張ってください。応援に行きたい」、女子主将の山田 湖都さんは「中学校に入ったら、いつか自分たちも春中ハンドに出たい」と語ってくれました。

このカウントダウンボードは、大会終了まで市役所1階正面玄関に設置します。

